本当に必要？　救急車は**いのち**をつなぐ乗り物です。適正利用にご協力を！

消防だより

有田川町消防本部　☎52-5950
吉備金屋消防署　☎52-5950
清水消防署　☎25-1243
病院紹介（和歌山県救急医療情報センター）
☎073-426-1199

今年の出動など（累計）

火災……………12件
救急…………114件
救助……………19件
（平成28年10月31日現在）

火気の使用に注意！

気温が低くなるにつれ、暖房器具などの火気を使用する機会が増えることで、火災が発生しやすい季節になりました。取り扱いに注意していても、ちょっとした気の緩みから火災は発生します。左記に暖房器具による火災を防ぐチェックポイントを紹介します！

また、火災を起こさないために、もう一度、暖房器具の正しい使用方法や注意事項を確認しておきましょう。

暖房器具による火災を防ぐポイント

- 取り扱い説明書をよく読み、点検整備を行う。
- 暖房器具の上や近くには、洗濯物を干さない。
- 新聞紙など、燃えやすいものを暖房器具の近くに置かない。
- 暖房器具の近くでスプレー缶などを使わない。
- 給油するときはスイッチを切り、給油後は燃料タンクのふたを確実に閉める。
- 間違ってガソリンなどを給油しない。
- 就寝時や外出時は必ず火を消し、プラグをコンセントから抜く。
- プラグとコンセントはこまめに掃除する。

気をつけて！窒息事故

食べ物による窒息事故は、子どもと高齢者の方が約8割を占めます。

●食品のリスク要因

- かみ切りにくい。
- 口の中を滑りやすい。
- 一口サイズで、吸い込んで食べるような構造。

予防するためには食べやすい大きさにし、よくかんで食べること。また、本人だけでなく、周囲の人たちも注意することで未然に防ぐことができます。

注意していても事故が起こってしまったら？窒息時の対処法

●反応（意識）がある場合

・腹部突き上げ法

傷病者の背中側から腕を回して抱えるようにし、片手で握りこぶしを作り、傷病者のへそよりも上でみぞおちの下方に当てます。

そのこぶしを一方の手で握り、素早く手前上方側へ圧迫するように突き上げます。

※妊婦や乳児には実施してはいけません。次の「背部叩打法」を行ってください。

・背部叩打法

手のひらの付け根で、肩甲骨の間を強く連続して叩きます。

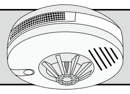
●反応がない場合

ぐったりして反応がない場合、直ちに心肺蘇生法を実施し、途中で異物が見えたならそれを取り除きます。

出初式のご案内

●日時／平成29年1月10日（火）9時～
●場所／明恵の里スポーツ公園
※雨天時はきび体育館

有田川町消防団出初式を開催します。この機会に、有田川町消防団の勇壮な姿をぜひご覧ください。



付けましたか？
住宅用火災報知器
全ての**寝室**と**階段**（2階に寝室がある場合）に必要です。
正しい場所に設置されているか確認してください。